

建設部門関連質問



(藤本議員)

- Q** 移管契約後の高所配水団地について、及び事故等により断水が起きた場合の対策等について。
- A** 水の安全確保に関する調査・整備を予定している。断水時には、2日分の水は確保可能と考えている。(古毛堂建設部長)

A 皇帝ハイツにおいては、今年度、水質面の安心を確保するための調査・整備を予定している。今後については、来年度に実施設計業務を予定しており、その結果に基づき、具体的な改修スケジュールを作成していく。土岐の城団地については、道路掘削等の問題から、基本的に平成20年度から本格的な工事を予定している。断水については、町内5ヶ所の配水池に満水時で約5,100トン余りの容量があり、節水等を行っていただくことにより2日分は確保できると考えている。また、学校に掘っている井戸水についても、用水として十分利用ができると考えている。

Q 正式契約を済ませた皇帝ハイツ団地及び土岐の城団地の町水道移管に関する今後の具体的スケジュールを問う。また、水道管破裂事故等が起きた場合の緊急時の対策等は。

(藤河議員)

- Q** 深原地区公園のグラウンド使用について。
- A** 可能な範囲内で利用できるよう準備を進めている。(上馬場都市整備課長)



A グラウンド内の雑草については、融雪用の塩化カルシウムをグラウンドに散布し、雑草の抑制に努めるよう考えている。また、グラウンドを使用しながら雑草の発生を防ぐことも、グラウンドの管理上有効と思われるため、関連する工事と安全確保を検討のうえ、可能な範囲内で利用できるよう準備を進めている。仮設トイレについては、リース料、汲み取り料等の経費もかかることから、利用者の一部負担も考慮し、検討をしていく。

Q 深原地区公園のグラウンド造成が完了して半年が経過したが、グラウンドには雑草がかなり生えてきており、グラウンドが使用されていけば、雑草は生えていなかったと思われる。また、上下水道も整備されておらず、供用開始ができない状況である。仮設トイレを設置してでも、グラウンドの早期開放を実施し、グラウンドの管理については、使用者の協力を得る方法があるのではないか。



(佛圓議員)

- Q** 学校評議員制度の活用と内容は。
- A** 学校の運営について具体的な提言を行っている。(立花教育部長)

A 学校評議員制度は、各学校の運営について地域の意見を把握して反映するとともに、学校運営の状況等を知ることにより、説明責任を果たそうとする制度である。各校とも概ね1学期に1回、年3回の評議員会を開いている。管理職や教職員等と、学校の現状に関する案件(授業や学力、学校経営、生徒指導、子どもの安全、保護者との連携や虐待等)について様々な資料を元に協議を行い、それを学校運営に生かしている。教育委員会へも毎回報告が行われており、この制度を有効に活用するよう指導も行っている。

Q 平成14年度から各小中学校に学校評議員制度が設けられたが、その活用と主たる内容について問う。

教育部門関連質問